2025年3月期 第1四半期 決算補足説明資料

2024年8月

日本金銭機械株式会社

東証プライム市場 / 証券コード：6418

本資料の内容

■ 連結業績ハイライト

■ 連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

■ 連結業績予想

- セグメント別業績予想

■ 株主還元

■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

本資料の内容

■ **連結業績ハイライト**

■ **連結業績概要**

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ **セグメント別概要**

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

■ **連結業績予想**

- セグメント別業績予想

■ **株主還元**

■ **参考資料**

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

連結業績ハイライト

前年同期比で増収増益

■売上収益

グローバルゲーミング

カジノホテル等の設備投資意欲が高い水準で推移していることを背景に、主力製品であるカジノゲーム機搭載用の紙幣識別機ユニットの販売が増加

国内コマーシャル

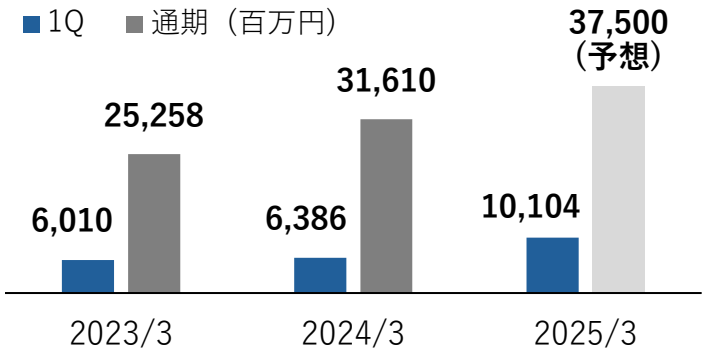
遊技場向機器

新紙幣の改刷対応による更新需要や紙幣識別機ユニットの販売が増加

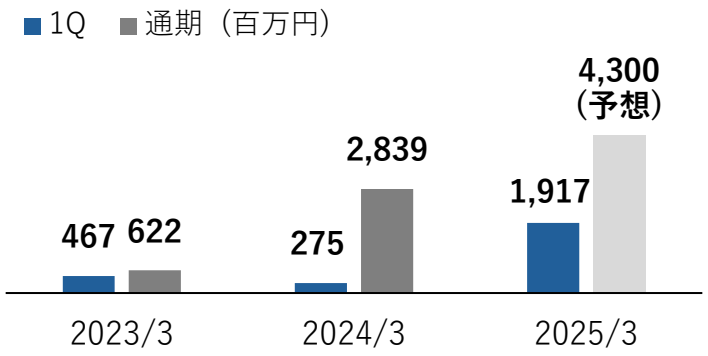
■営業利益

利益面では、売上高の増加に加えて、新紙幣の改刷対応に伴う国内コマーシャル及び遊技場向機器セグメントにおいて収益性の高い製品の販売が増加したことで大幅に増加

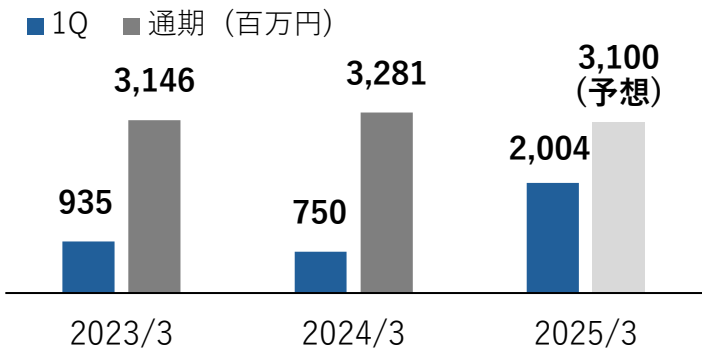
売上高	
10,104 百万円	前年同期比 58.2%増



営業利益	
1,917 百万円	前年同期比 595.2%増



当期純利益	
2,004 百万円	前年同期比 167.1%増



本資料の内容

■ 連結業績ハイライト

■ **連結業績概要**

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

■ 連結業績予想

- セグメント別業績予想

■ 株主還元

■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

連結業績概要

単位：百万円	2024/3 1Q		2025/3 1Q		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減率	増減額
売上高	6,386	100.0%	10,104	100.0%	58.2%	+3,717
営業利益	275	4.3%	1,917	19.0%	595.2%	+1,642
経常利益	878	13.8%	2,377	23.5%	170.6%	+1,498
当期純利益	750	11.7%	2,004	19.8%	167.1%	+1,253
EPS		25.57円		73.34円		+47.77円

平均為替レート	米ドル	133.45円	149.90円	+16.45円
	ユーロ	143.97円	162.27円	+18.30円

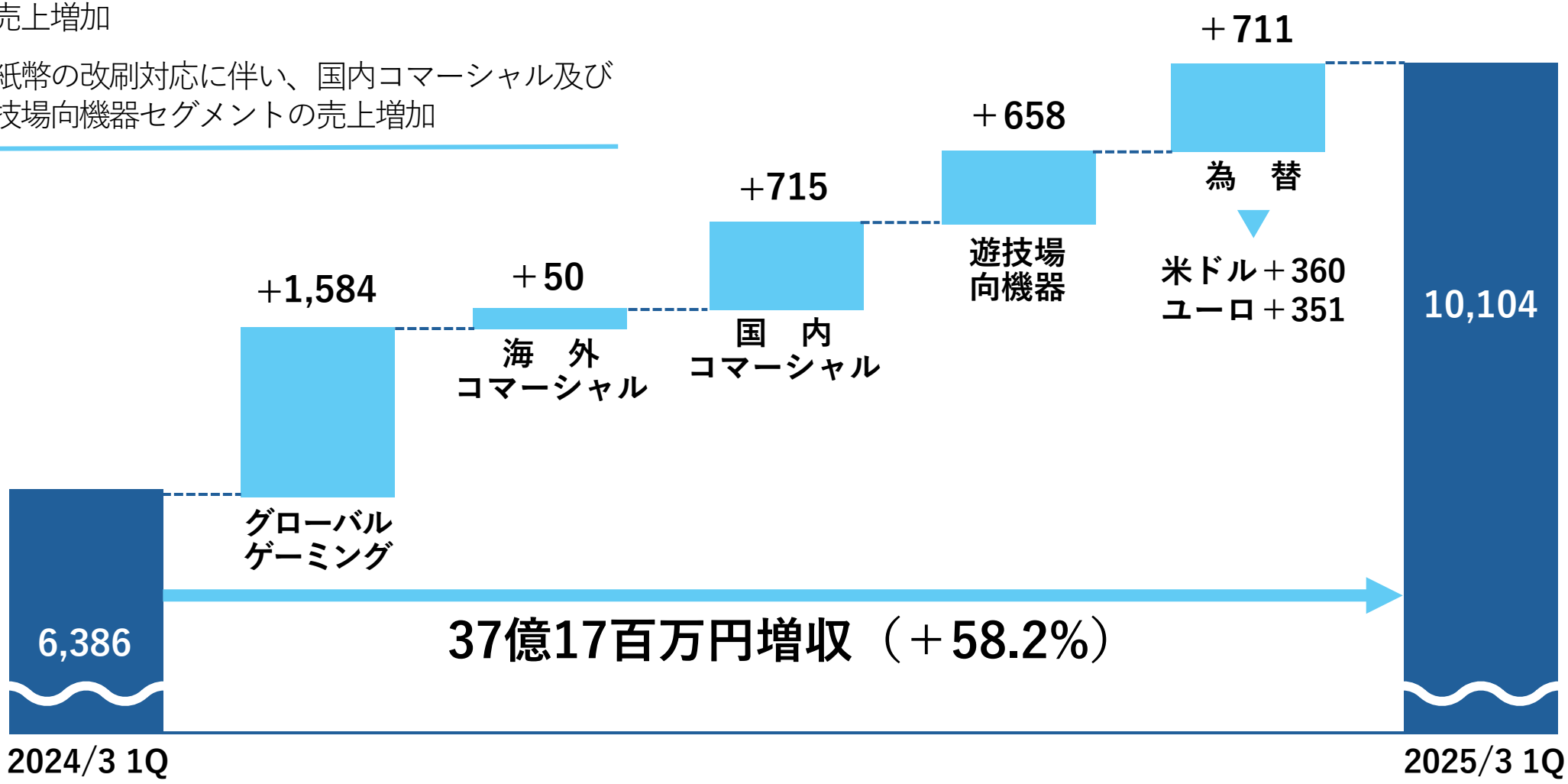
連結業績概要-売上高増減要因

単位：百万円

■**主な増減要因**

・部材の入手難解消によりゲーミングセグメントの売上増加

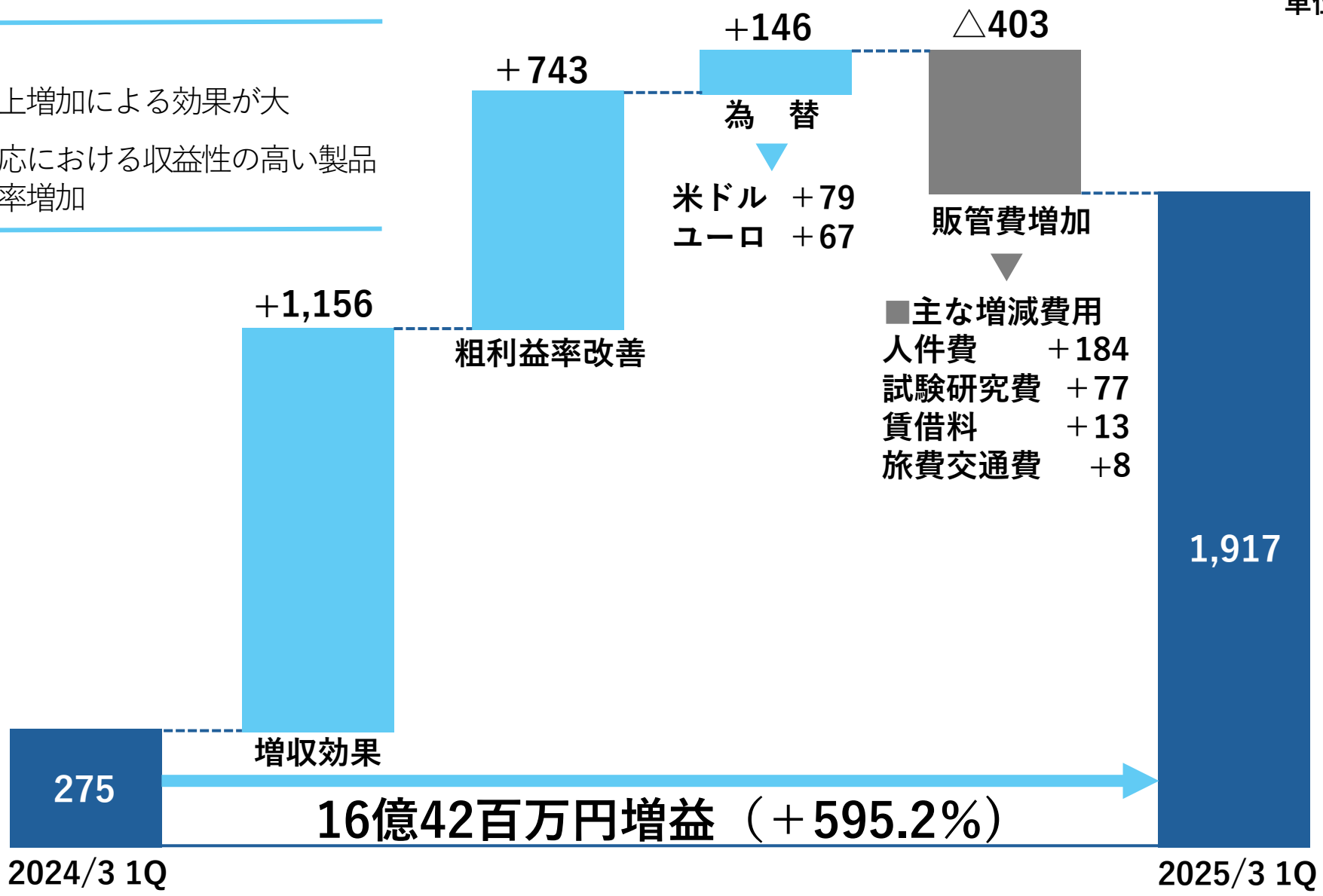
・新紙幣の改刷対応に伴い、国内コマーシャル及び遊技場向機器セグメントの売上増加



連結業績概要-営業利益増減要因

単位：百万円

■主な増減要因
・海外、国内ともに売上増加による効果が大
・国内新紙幣の改刷対応における収益性の高い製品販売が増加し粗利益率増加



本資料の内容

■ 連結業績ハイライト

■ 連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ **セグメント別概要**

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

■ 連結業績予想

- セグメント別業績予想

■ 株主還元

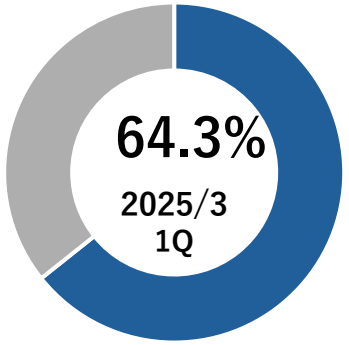
■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

セグメント別概要

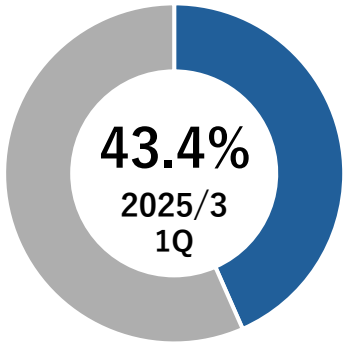
単位：百万円	2024/3 1Q	2025/3 1Q	前年同期比	
			増減率	増減額
売上高	6,386	10,104	+58.2%	+3,717
グローバルゲーミング	2,663	4,780	+79.5%	+2,116
海外コマーシャル	1,487	1,716	+15.4%	+228
国内コマーシャル	612	1,327	+116.7%	+714
遊技場向機器	1,622	2,280	+40.5%	+657
営業利益	275	1,917	+595.2%	+1,642
グローバルゲーミング	291	1,067	+266.1%	+776
海外コマーシャル	△ 115	△ 109	ー	+5
国内コマーシャル	43	567	+1,211.1%	+523
遊技場向機器	287	683	+137.7%	+395
調整額 （各セグメントに配分していない全社費用）	△ 230	△ 290		

海外売上高比率



（2024/3 1Q　65.0%）

海外営業利益比率



（2024/3 1Q　34.8%）

セグメント別概要-グローバルゲーミング

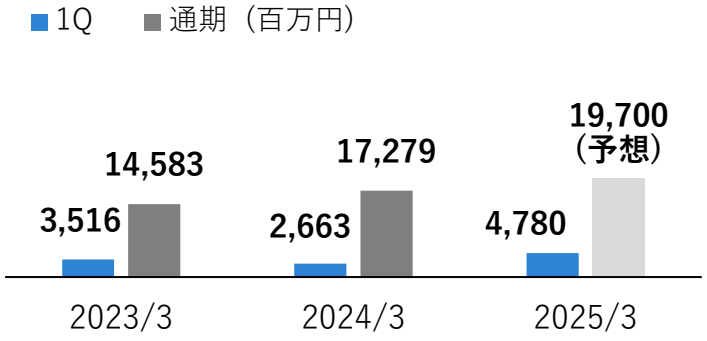
■事業概要
カジノゲーム機搭載用の紙幣識別機ユニットやプリンターユニット、カジノホールの省力化や自動化のためのシステム製品等を販売
主たる市場は、北米のカジノや欧州のストリートのゲーム場

■主な納入先
スロットマシンメーカー、カジノホテル

■業績概況
カジノホテル等の設備投資意欲は高水準で推移
前年同期の部材供給不足の影響も解消され、主力製品である紙幣識別機ユニットの販売が大幅に増加

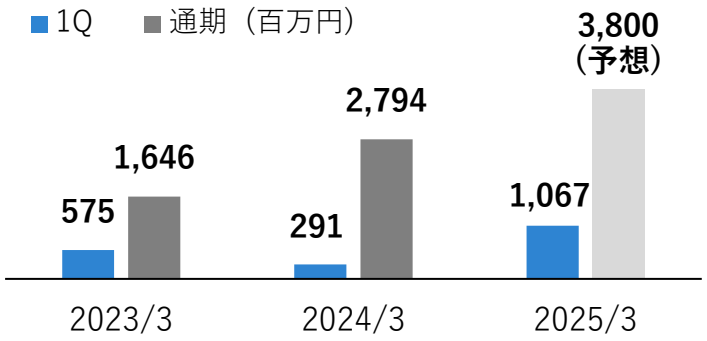
売上高

4,780 百万円	前年同期比 79.5%増



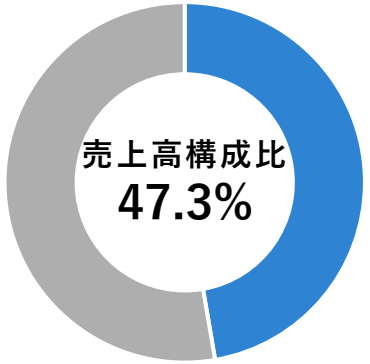
営業利益

1,067百万円	前年同期比 266.1%増



主な製品

プリンターユニット



紙幣識別機ユニット

カジノホール現金回収業務
自動化システム

テーブルゲームシステム
（紙幣還流ユニット・プリンターユニット搭載）

セグメント別概要-海外コマーシャル

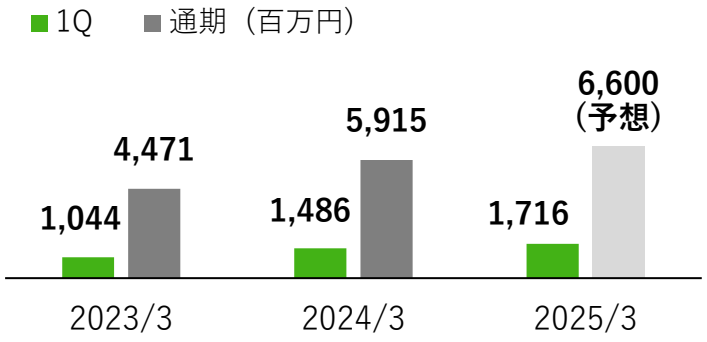
■事業概要
流通、交通、金融市場向けの精算機や券売機等に搭載される紙幣識別機ユニットや紙幣還流ユニットを販売

■主な納入先
完成品メーカー
（セルフレジ、キオスク端末、駅、バス等）

■業績概況
欧州地域における非接触・非対面決済運用向けのセルフレジ精算機に搭載する紙幣還流ユニットの販売増加
重点施策の一つとして掲げる新市場開拓に向けた新製品の研究開発や販路拡大のための展示会へ出店費用等の増加により営業利益は損失

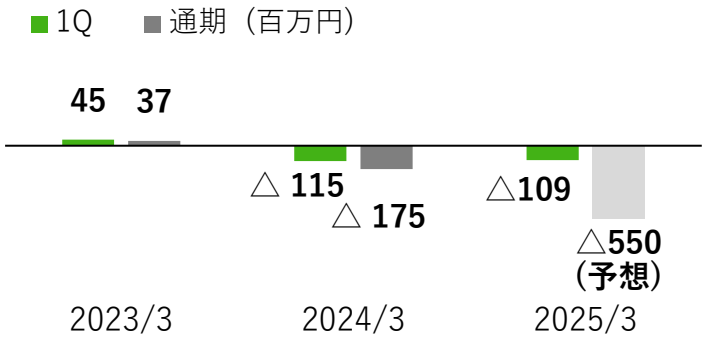
売上高

1,716 百万円	前年同期比 15.4%増

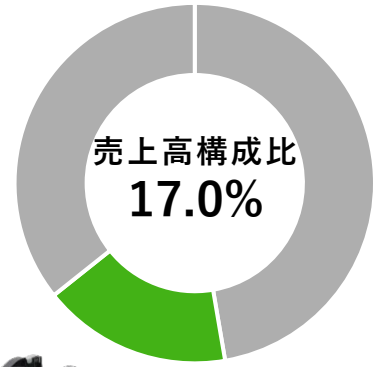


営業利益

△109 百万円	前年同期比 5.1%増



主な製品



紙幣還流ユニット

紙幣識別機ユニット

自動釣銭機

セグメント別概要-国内コマーシャル

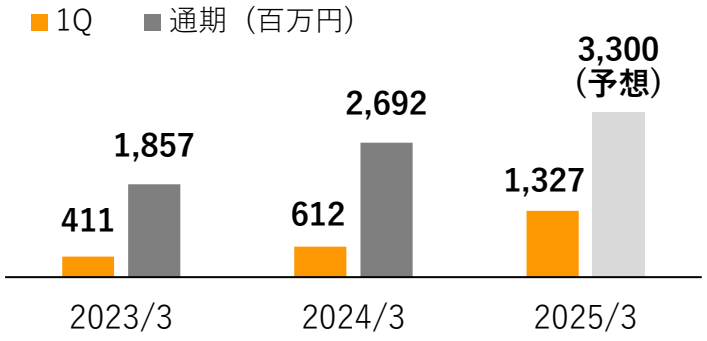
■事業概要
流通、交通、金融市場向けの精算機や券売機等に搭載される紙幣識別機ユニットや紙幣還流ユニットを販売

■主な納入先
完成品メーカー
（飲食店セルフ精算機、コインパーキング、セルフガソリンスタンド、バス等）

■業績概況
新紙幣の改刷対応に伴う更新需要の増加により売上・利益の増加

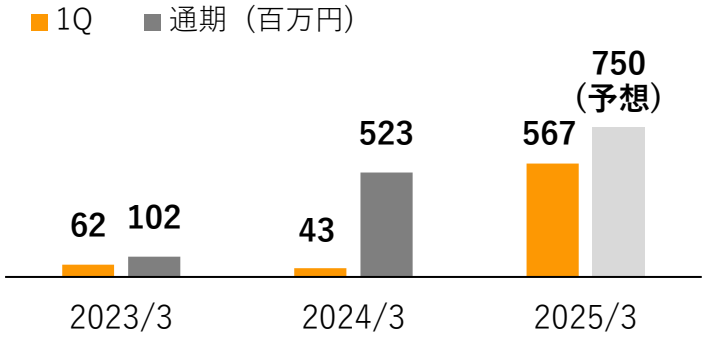
売上高

1,327百万円	前年同期比 116.7%増

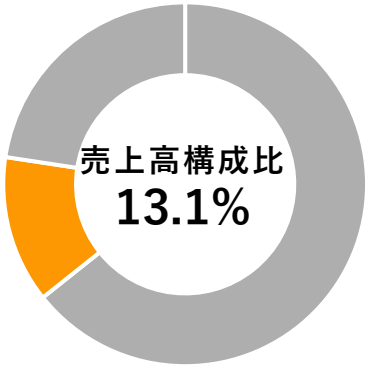


営業利益

567百万円	前年同期比 1,211.1%増



主な製品



紙幣還流ユニット

硬貨還流ユニット

キャッシュレス対応
自動精算機

セグメント別概要-遊技場向機器

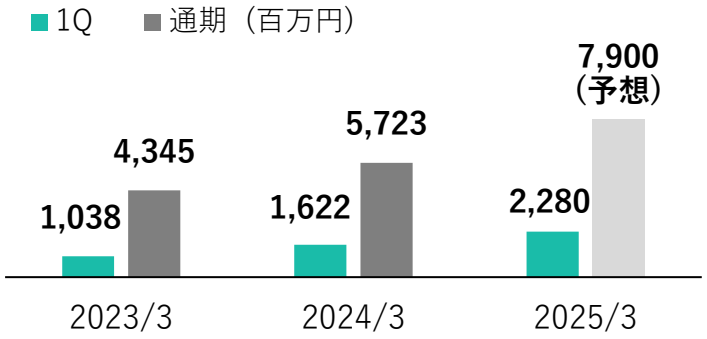
■事業概要
パチンコホール向けに、スマート遊技機専用ユニットや玉・メダル貸機、メダル自動補給システム等の周辺設備機器を販売

■主な納入先
パチンコホール

■業績概況
スマート遊技機専用ユニットの販売が堅調に推移したことに加え、新紙幣の改刷対応に伴う紙幣識別機ユニットの販売や、その他の周辺設備機器の販売が増加

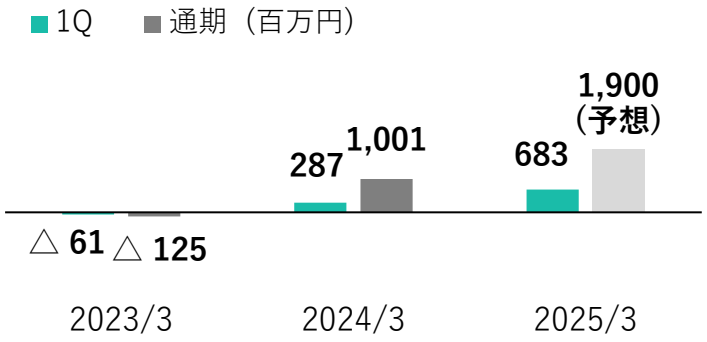
売上高

2,280 百万円	前年同期比 40.5%増



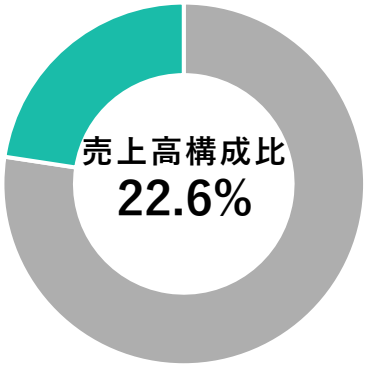
営業利益

683 百万円	前年同期比 137.7%増



主な製品

景品管理POS



紙幣搬送システム

景品払出機

スマート遊技機
専用ユニット

本資料の内容

■ 連結業績ハイライト

■ 連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

■ 連結業績予想

- セグメント別業績予想

■ 株主還元

■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

連結業績予想

■ グローバルゲーミング
顧客のニーズに沿った販促活動により売上増加

■ 海外コマーシャル
新規市場の販路拡大が遅延し、期初計画より売上減少

■ 国内コマーシャル
■ 遊技場向機器
新紙幣の改刷対応により売上・利益が増加

単位：百万円	2024/3 上半期 金額	2024/3 上半期 構成比	2024/3 下半期 金額	2024/3 下半期 構成比	2024/3 通期 金額	2024/3 通期 構成比	2025/3 上半期予想 金額	2025/3 上半期予想 構成比	2025/3 下半期予想 金額	2025/3 下半期予想 構成比	2025/3 通期予想 金額	2025/3 通期予想 構成比	前期比増減
売上高	13,321	100.0%	18,289	100.0%	31,610	100.0%	21,000	100.0%	16,500	100.0%	37,500	100.0%	+5,889
営業利益	919	6.9%	1,919	10.5%	2,839	9.0%	3,400	16.2%	900	5.5%	4,300	11.5%	+1,460
経常利益	1,756	13.2%	1,811	9.9%	3,568	11.3%	3,100	14.8%	800	4.8%	3,900	10.4%	+331
当期純利益	1,371	10.3%	1,910	10.4%	3,281	10.4%	2,500	11.9%	600	3.6%	3,100	8.3%	△181
ROE		–		–		11.8%		–		–		10.7%	△1.1pt
EPS		46.73円		–		112.59円		92.19円		–		114.76円	+2.17円

※上半期及び通期予想は2024年8月7日付で業績予想の修正を実施

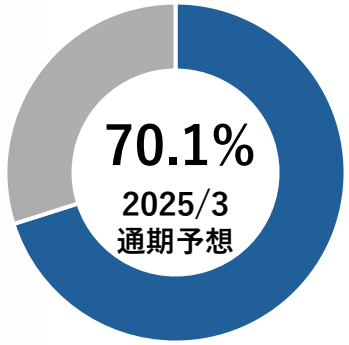
平均為替レート		上半期	下半期	通期	上半期予想	下半期予想	通期予想	前期比増減
	米ドル	136.54円	145.87円	141.20円	154.09円	140.00円	147.04円	+5.84円
	ユーロ	147.93円	158.46円	153.20円	166.22円	150.00円	158.11円	+4.91円

連結業績予想-事業セグメント別業績予想

単位：百万円	2024/3 上半期	2024/3 下半期	2024/3 通期	2025/3 上半期予想	2025/3 下半期予想	2025/3 通期予想	前期比増減額
売上高	13,321	18,289	31,610	21,000	16,500	37,500	+5,889
グローバルゲーミング	6,531	10,747	17,279	10,650	9,050	19,700	+2,420
海外コマーシャル	2,710	3,205	5,915	3,650	2,950	6,600	+684
国内コマーシャル	1,017	1,674	2,692	2,300	1,000	3,300	+607
遊技場向機器	3,061	2,661	5,723	4,400	3,500	7,900	+2,176
営業利益	919	1,919	2,839	3,400	900	4,300	+1,460
グローバルゲーミング	1,075	1,718	2,794	2,300	1,500	3,800	+1,005
海外コマーシャル	△ 137	△ 38	△ 175	△ 250	△ 300	△ 550	△ 374
国内コマーシャル	28	495	523	800	△ 50	750	+226
遊技場向機器	491	510	1,001	1,250	650	1,900	+898
調整額（各セグメントに配分していない全社費用）	△ 538	△ 766	△ 1,305	△ 700	△ 900	△ 1,600	△ 294

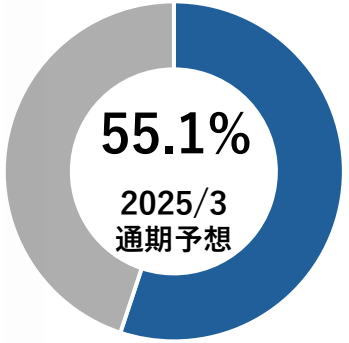
※上半期及び通期予想は2024年8月7日付で業績予想の修正を実施

海外売上高比率



（2024/3 通期　73.4%）

海外営業利益比率



（2024/3 通期　63.2%）

本資料の内容

■ 連結業績ハイライト

■ 連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

■ 連結業績予想

- セグメント別業績予想

■ 株主還元

■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

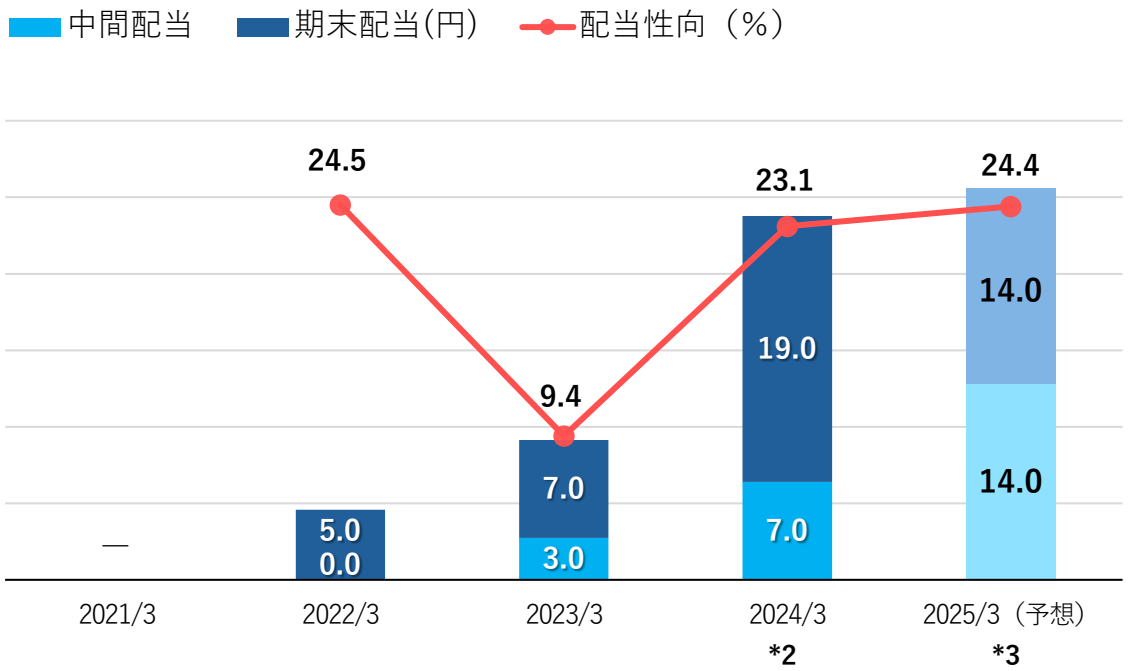
株主還元

■ 2025年3月期の年間普通配当は、1株につき28円を予定 ※配当予想は、2024年5月9日に公表

配当方針

業績連動型株主還元を継続

- 配当性向（連結）30%以上 *1
- 純資産配当率（連結）2.0%以上



	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3 *2	2025/3（予想）*3
純資産配当率（%）	—	0.7	1.2	2.7	2.6

*1　ごく短期的な利益変動要因による影響を除いて決定することがあります。　*2　2024年2月に自己株式の取得（19億円）を実施。　*3　2024年5月に自己株式の取得（15億円）を実施。

本資料の内容

■ 連結業績ハイライト

■ 連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

■ 連結業績予想

- セグメント別業績予想

■ 株主還元

■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

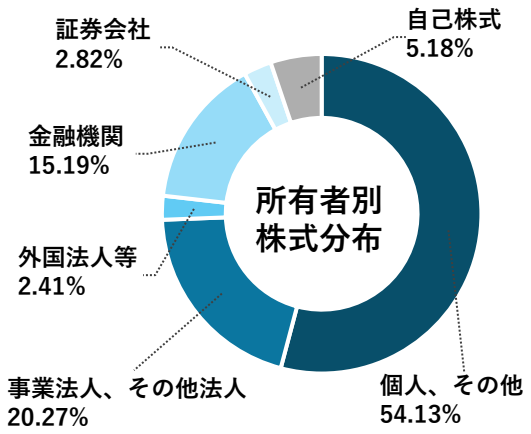
参考資料-会社概要

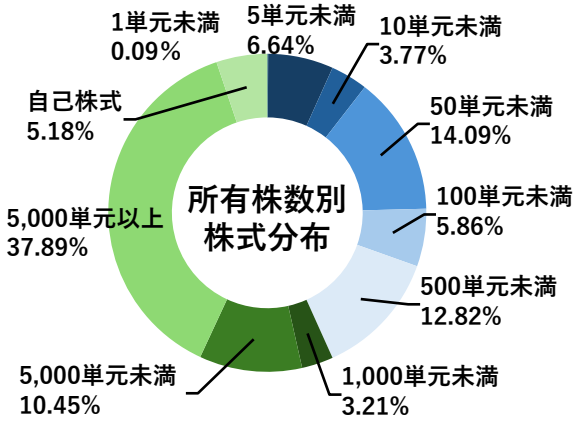
商号	日本金銭機械株式会社 Japan Cash Machine Co.,Ltd.
設立	1955年1月11日
代表者	代表取締役社長　上東 洋次郎
本社所在地	大阪市浪速区難波中二丁目11番18号 パークスサウススクエア

上場区分	東証プライム市場
社員数	564名（2024年3月31日現在）
資本金	22億2,031万円（2024年3月31日現在）
事業所	本社　（大阪市浪速区）、東京本社　（東京都中央区）、長浜工場　（滋賀県長浜市）
海外拠点	アメリカ（ラスベガス、シカゴ）、ブラジル、ドイツ、香港、タイ、フィリピン

株式の状況（2024年3月31日現在）

発行可能株式総数	118,000,000株	1単元の株式数	100株
発行済株式の総数	29,672,651株	株主数	18,104名





株 主 名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
上東興産株式会社	4,661	16.57
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	2,200	7.82
上東 洋次郎	1,458	5.18
上東 宏一郎	1,217	4.33
上東 好子	638	2.27
株式会社りそな銀行	563	2.00
株式会社三井住友銀行	503	1.79
トーターエンジニアリング株式会社	432	1.54
日本生命保険相互会社	403	1.43
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	329	1.17

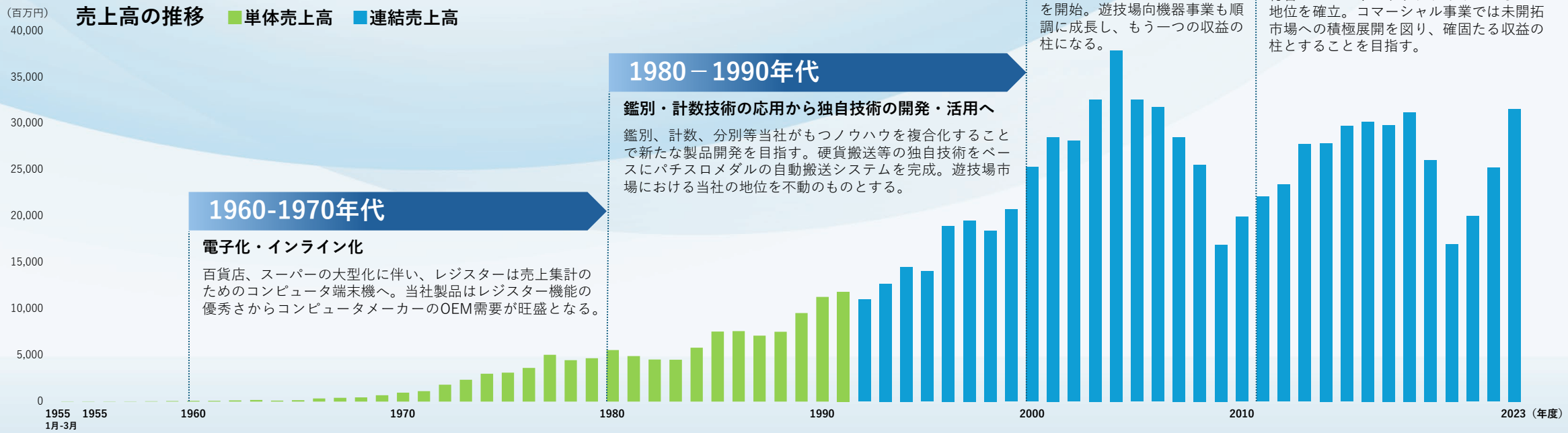
（注）1. 当社は自己株式を1,535,927株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して算出しております。

Our History

1955年に創業して以来、当社は貨幣処理機器メーカーという専門性の高い分野で、「人と人」、「人と貨幣」を円滑につないできました。
世界市場を舞台に貨幣流通のスペシャリストとして新たな価値を提供し、グローバル企業として人々の期待と信頼に応え続けていきます。

売上高の推移

■単体売上高　■連結売上高



1960-1970年代

電子化・インライン化

百貨店、スーパーの大型化に伴い、レジスターは売上集計のためのコンピュータ端末機へ。当社製品はレジスター機能の優秀さからコンピュータメーカーのOEM需要が旺盛となる。

1980－1990年代

鑑別・計数技術の応用から独自技術の開発・活用へ

鑑別、計数、分別等当社がもつノウハウを複合化することで新たな製品開発を目指す。硬貨搬送等の独自技術をベースにパチスロメダルの自動搬送システムを完成。遊技場市場における当社の地位を不動のものとする。

2000年代

欧米市場への貨幣処理機器事業の展開/遊技場関連機器のニーズに対応

多国紙幣対応紙幣識別機の販売を開始。遊技場向機器事業も順調に成長し、もう一つの収益の柱になる。

2010年以降

コアとなる識別・搬送技術を追求し、時代を先取りする技術革新につなげる

グローバルゲーミング事業、遊技場向機器事業では、買収・事業譲受けによって新たに取得した製品、市場、顧客、資産等を活用し、シナジー効果を享受するとともに、総合コンポーネントサプライヤーとしての地位を確立。コマーシャル事業では未開拓市場への積極展開を図り、確固たる収益の柱とすることを目指す。

1955　1959　1981　1987　1988　1999　2010　2014　2020　2022

会社設立

レジスターの製造開始

紙幣識別機の製造開始

香港に子会社設立

米国に子会社設立

欧州に子会社設立

東京本社、新事務所の業務開始

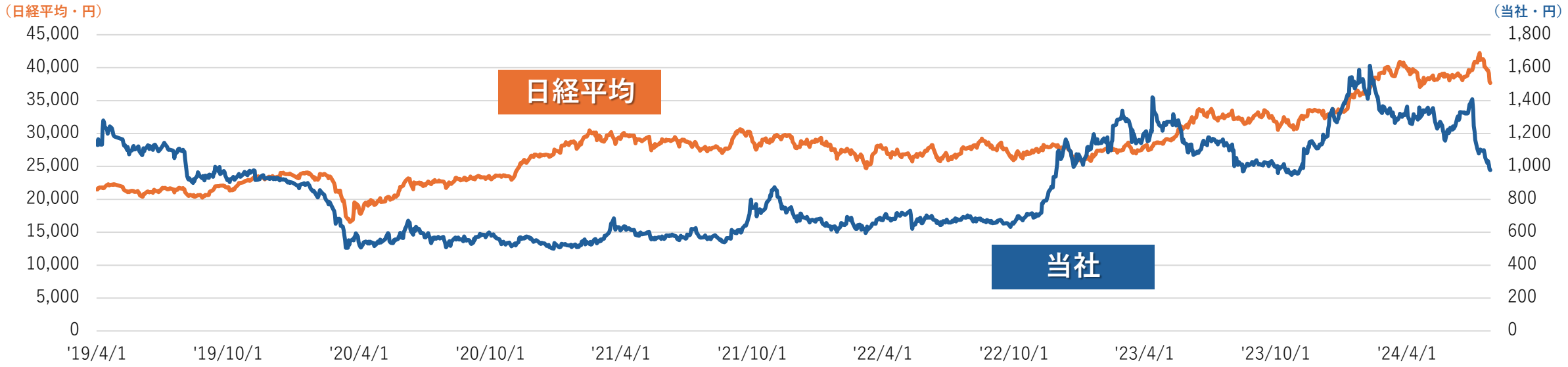
ゲーミング市場向けプリンターユニット製造販売会社を取得、子会社化

フィリピンに子会社設立

米国、ブラジルに子会社設立

参考資料-株価・PBR・ROE

株価の推移

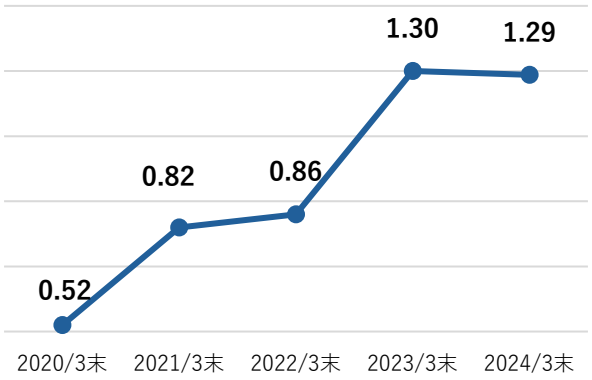


PBR

1.29倍（2024/3末）

持続的な維持・向上に向けた基準値

1.0倍以上

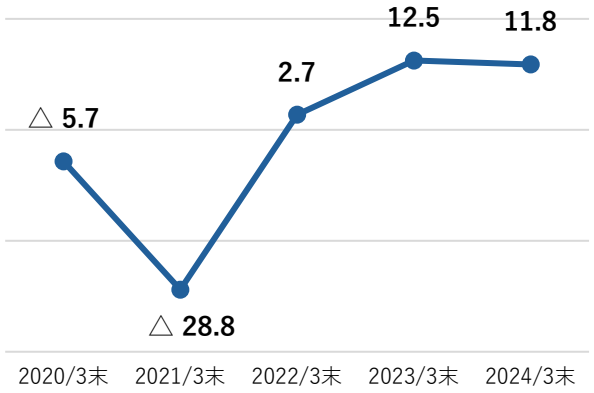


ROE

11.8%（2024/3末）

中期経営計画目標値

8%以上



参考資料-連結貸借対照表

■ 資産、負債及び純資産：+13億72百万円

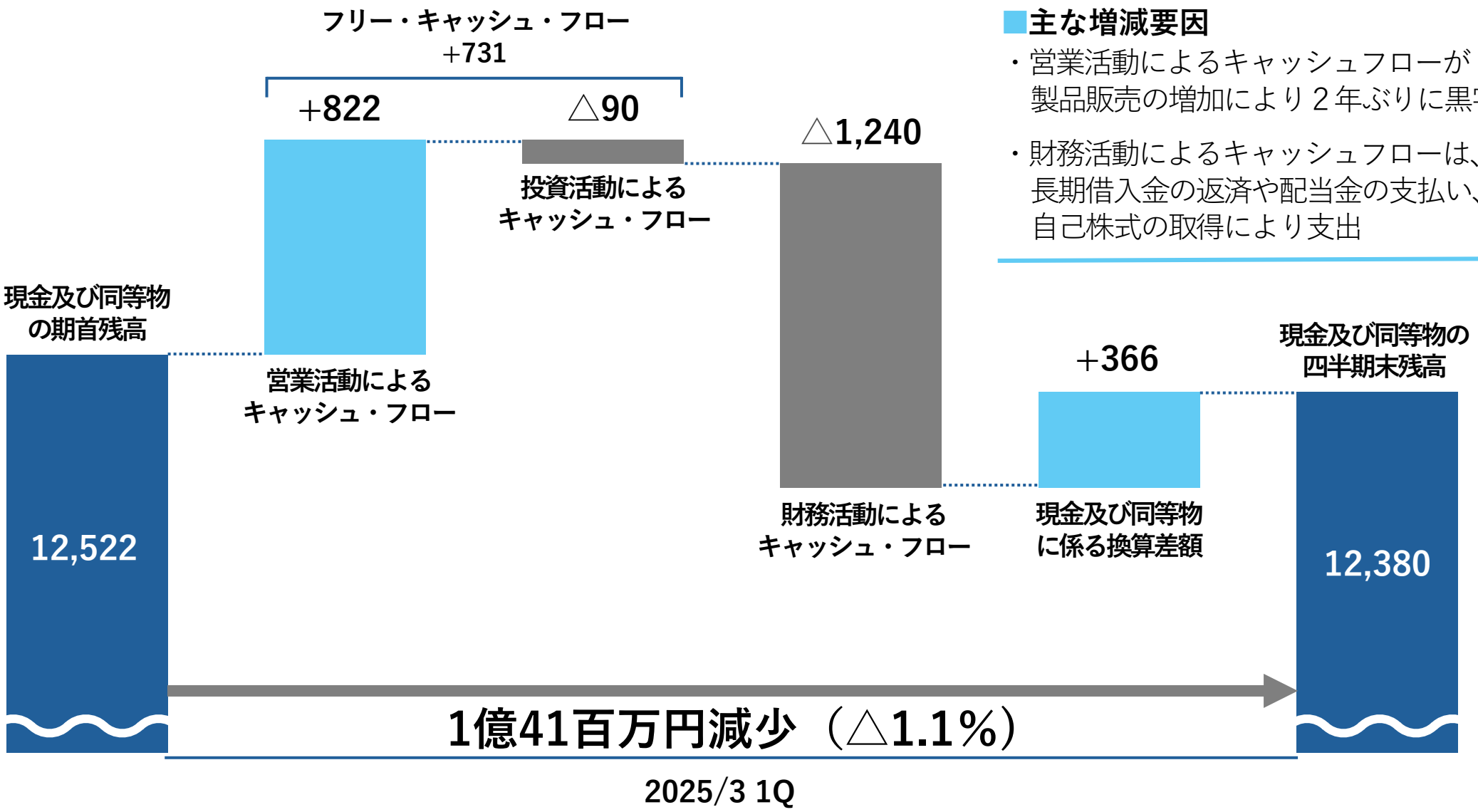
- 流動資産　+12億　9百万円：主に売上債権、棚卸資産の増加
- 固定負債　＋6億38百万円：新規借入金による増加

単位：百万円		2023/3末	2024/3末	2024/6末	増減
	現預金・有価証券	13,711	12,580	12,442	△ 138
	売掛債権	5,005	7,056	7,941	+884
	棚卸資産	11,610	19,564	20,182	+618
	その他	1,945	941	786	△ 155
流動資産合計		32,273	40,143	41,352	+1,209
	有形固定資産	3,338	3,950	3,970	+19
	無形固定資産	143	219	221	+1
	投資その他の資産	3,025	3,261	3,408	+147
固定資産合計		6,508	7,431	7,600	+168
	繰延資産その他	35	123	117	△ 5
繰延資産合計		35	123	117	△ 5
資産合計		38,816	47,698	49,071	+1,372

単位：百万円		2023/3末	2024/3末	2024/6末	増減
	買掛債務	3,559	4,583	3,405	△ 1,178
	短期借入金	600	1,260	1,500	+240
	その他	3,466	3,417	4,187	+770
流動負債合計		7,625	9,260	9,092	△ 167
	社債・長期借入	3,500	9,540	10,200	+660
	その他	527	242	220	△ 21
固定負債合計		4,027	9,782	10,420	+638
負債合計		11,653	19,042	19,513	+471
	資本金	2,220	2,220	2,220	ー
	資本・利益剰余金	24,465	27,335	28,805	+1,469
	その他	477	△ 900	△ 1,468	△ 567
純資産合計		27,163	28,655	29,557	+901
負債純資産合計		38,816	47,698	49,071	+1,372

参考資料-連結キャッシュ・フローの状況

単位：百万円

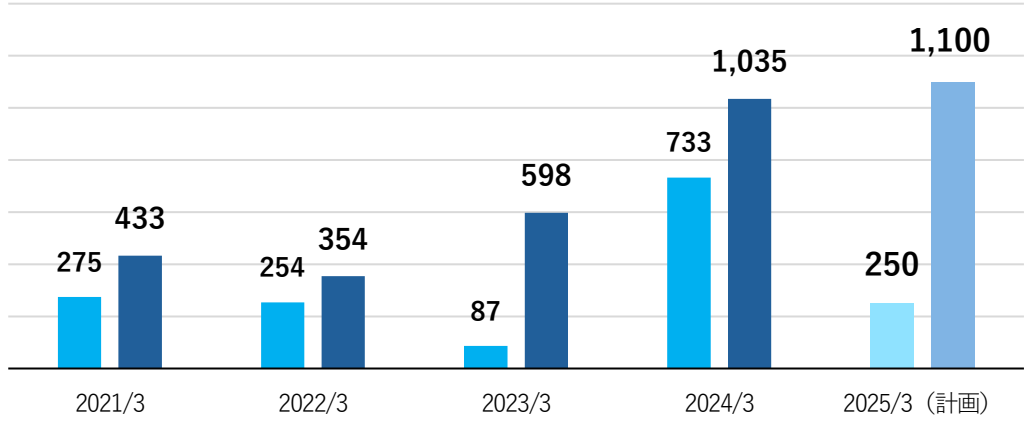


主な増減要因

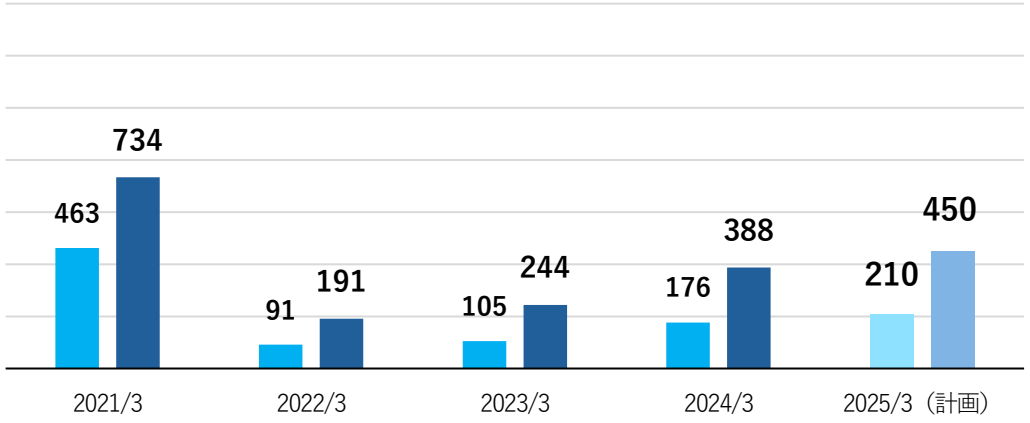
- 営業活動によるキャッシュフローが製品販売の増加により２年ぶりに黒字化
- 財務活動によるキャッシュフローは、長期借入金の返済や配当金の支払い、自己株式の取得により支出

参考資料-設備投資額・減価償却費・研究開発費

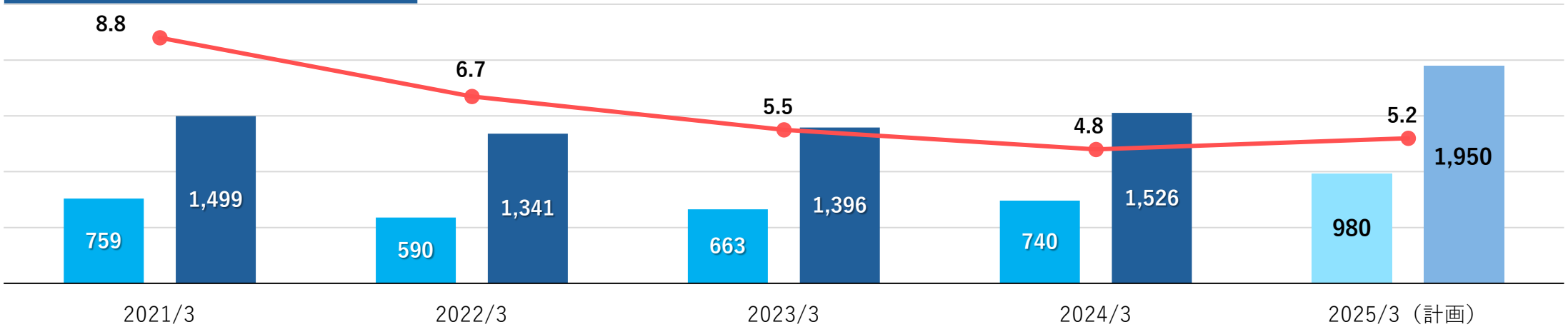
設備投資額



減価償却費（のれん除く）



研究開発費・対売上高比率



■為替感応度：円安は業績プラス要因

1円変動による影響額（通期：百万円）		2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3 予想
期中平均レート	米ドル	106.44円	110.37円	132.08円	141.20円	147.00円
	ユーロ	121.95円	130.37円	138.58円	153.20円	158.00円
売上高	**米ドル**	**71**	**87**	**91**	**99**	**101**
	ユーロ	**33**	**35**	**48**	**59**	**65**
営業利益	**米ドル**	**29**	**30**	**11**	**14**	**17**
	ユーロ	**4**	**5**	**3**	**3**	**6**
期末日レート	米ドル	110.72円	122.41円	133.54円	151.42円	–
	ユーロ	129.82円	136.85円	145.76円	163.38円	–
営業外損益	**米ドル**	**40**	**42**	**40**	**33**	–
	ユーロ	**5**	**4**	**4**	**5**	–

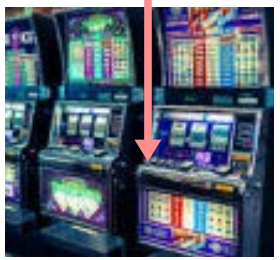
参考資料-市場シェア ※各製品のシェアは、当社推定値

グローバルゲーミング

プリンターユニット

70%

■競合企業
・Transact (USA)
・Nanoptix (CAN)



紙幣識別機ユニット

世界市場
60%

■競合企業
・Crane payment innovations
(MEI、Cash Code、
Money Control (USA))
・Innovative Technology (UK)

海外コマーシャル

紙幣還流ユニット

<＜25%

■競合企業
・Innovative Technology (UK)
・Crane payment innovations
(MEI、Cash Code、Money Control (USA))

国内コマーシャル

紙幣還流ユニット

硬貨還流ユニット

■競合企業
・グローリー㈱
・㈱高見沢サイバネティックス

>50%

遊技場向機器

スマート遊技機専用ユニット

景品管理POS

■競合企業
・日本ゲームカード㈱
・ダイコク電機㈱
・グローリーナスカ㈱

10%

グローバルゲーミング

■世界のゲーミング市場における高いブランド力

JCMグループは、米州、欧州をはじめとした世界のゲーミング市場において、ゲーミング関連機器等の販売と各種サービスを提供しており、現在、北米で約190のゲーミングライセンスを取得し、世界のゲーミング市場における実績とノウハウを保有する数少ない日本企業であります。

世界最大のゲーミングショー
Global Gaming Expo
ラスベガス

欧州最大のゲーミングショー
International Casino Exhibition
ロンドン

アジア最大のゲーミングショー
Global Gaming Expo ASIA
マカオ

■カジノ向けスロットマシンのメーカーをはじめ、周辺設備機器、システムソリューションやサービスなど、幅広いジャンルの関連企業が集まるゲーミングショーに毎年出展し、新製品や当社の最新技術を紹介しております。

海外コマーシャル

■コマーシャル市場の開拓

JCMグループは、北米及び中南米地域のコマーシャル市場の開拓、当社製品の販売拡大を目的として、
コマーシャル事業に特化した販売子会社を設立し、コマーシャル事業をゲーミング事業に次ぐ主力事業とすべく、
積極的な販売提案活動に注力しております。

北米最大の金融・流通向け展示会
National Retail Federation 2024
ニューヨーク

アジアの金融・流通向け展示会
ASEAN Retail 2024
シンガポール
National Retail Federation Asia 2024
タイ

南米の金融・流通向け展示会
FEBRABAN TECH 2024
ブラジル

■海外コマーシャル市場におけるシェア拡大に向けて、世界各地の金融・流通向け市場の展示会に出展し、
新製品を含め多数の当社製品を紹介や、協力企業との共同出展により更なる販路拡大に努めております。

参考資料-サステナビリティへの取り組み

■環境

気候関連のリスク及び機会に関する当社グループの指標と目標は、Scope１、２について、2025年度までに温室効果ガス排出量30％削減（2018年度比）を目指します。

温室効果ガス排出量実績及び目標　（単位：ｔ-CO_2）

2018年度実績（基準年）	2025年度目標	2018年度実績比	削減に向けた対応	2021年度実績（参考）
1,071	750	△30.0%	・カーボンニュートラル都市ガスの導入検討 ・省エネルギー性能の高い社屋への本社移転 ・本社、東京本社および長浜工場での再生可能エネルギーの導入検討 ・長浜工場およびフィリピン工場での太陽光パネル設置検討	970

■人的資本

当社グループの人的資本に対する基本方針は、従業員は「お互いを尊重し合い、個性を発揮しながら仕事を通じて人として成長し続けること」、会社は「人が成長し続ける機会を、仕事を通じて提供していくこと」で、従業員一人ひとりが家庭と職場に良い影響を与え、それらが集結することで継続的に価値を創造し続ける企業であり続けることが出来ると考えております。
今後、より一層事業のグローバル化を進めていく中、人事戦略の世界基準となっている「ダイバーシティの拡充」、「中核人材の育成」、「多様な働き方の実現」を当社の人材戦略の中心とし、その取り組みを推進してまいります。

当社グループではサステナビリティ推進にあたり、前述のとおり人的資本を重要視しており、上記各方針の実現に向けて、次の指標を用いており、当該指標に基づく目標及び実績は以下のとおりです。

指標	対象範囲	目標	実績（2024年3月期）
採用に占める女性比率	単体	30%以上	38.8%
正社員に占める女性従業員比率	単体	2032年までに20%	16.6%

当社のサステナビリティの取り組みについては統合報告書にまとめておりますので、下記の当社ウェブサイトをご参照ください。

統合報告書　https://www.jcm-hq.co.jp/ja/ir/library/r_annual.html

日本金銭機械株式会社（日本語）　https://www.jcm-hq.co.jp

JCM Global（English）　https://jcmglobal.com

過去の決算説明資料は、ホームページ(日本語)でもご覧いただけます。
「投資家情報」➡「IRライブラリー」➡「決算説明会資料」

お問合せ先　：　経営企画本部　広報・IR担当　06-6643-8400(代)

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、積極的な開示に努めてまいりますが、本資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。
なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等を行わないようにお願いいたします。